



半導体風雷神図 各 154×170 cm 各 3,300,000円

進化する京琳派
「半導体」

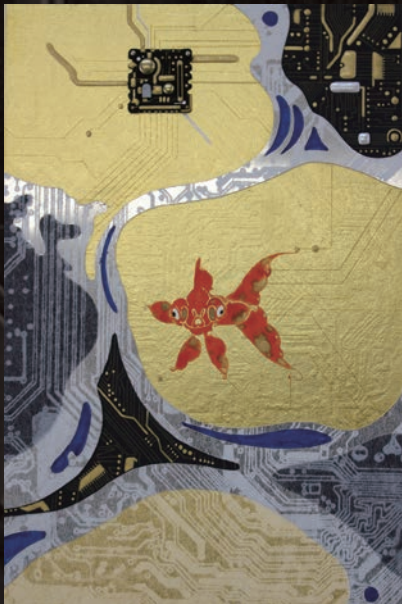
西嶋豊彦展

TOYOHIKO NISHIJIMA

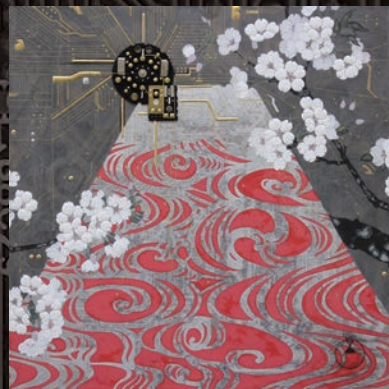
令和の今、京琳派を継承する。日本人の神羅万象に寄り添う姿勢と、日本美術の優れた装飾性から「和の神髄」をテーマに国内外で発表を続けて参りました。本展では、「半導体」をテーマに風雷神神などを未来化。現代社会の「つながり」を担う半導体のシステムティックな点や線の集積に、その機能に比類する美があることに着目し、これを自然の中に削ぎ落されたデザイン性を見出してきた京琳派の先人たちに重ね合わせました。「京琳派と半導体」、一見すると突拍子もないこの繋がり、過去と現在の美の眼差しの繋がりとして未来に引き継がれてゆきます。他にも、「燕子花園」や「洛中洛外図」など、画業の大きな転機ともいえる作品や、あわせて花々の絹絵、手のひらサイズの作品など、約 30 点を展覧致します。この機会に是非、ご注目下さい。



半導体燕子花園 各 113×150 cm 各 1,584,000円



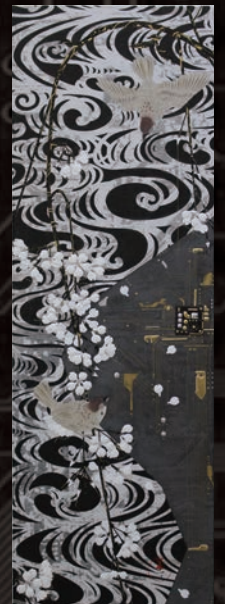
半導体流水図 33×22 cm 316,800円



半導体赤富士桜図 33×33 cm 385,000円



半導体月光 Wi-Fi 秋草図 56×15 cm 475,200円



半導体桜雀光琳水図 65×22 cm 633,600円

Semiconductor